

こくどう 1 号 磐田・袋井バイパスを4車線にする工事をしています。

道路を工事すると何が変わるの？

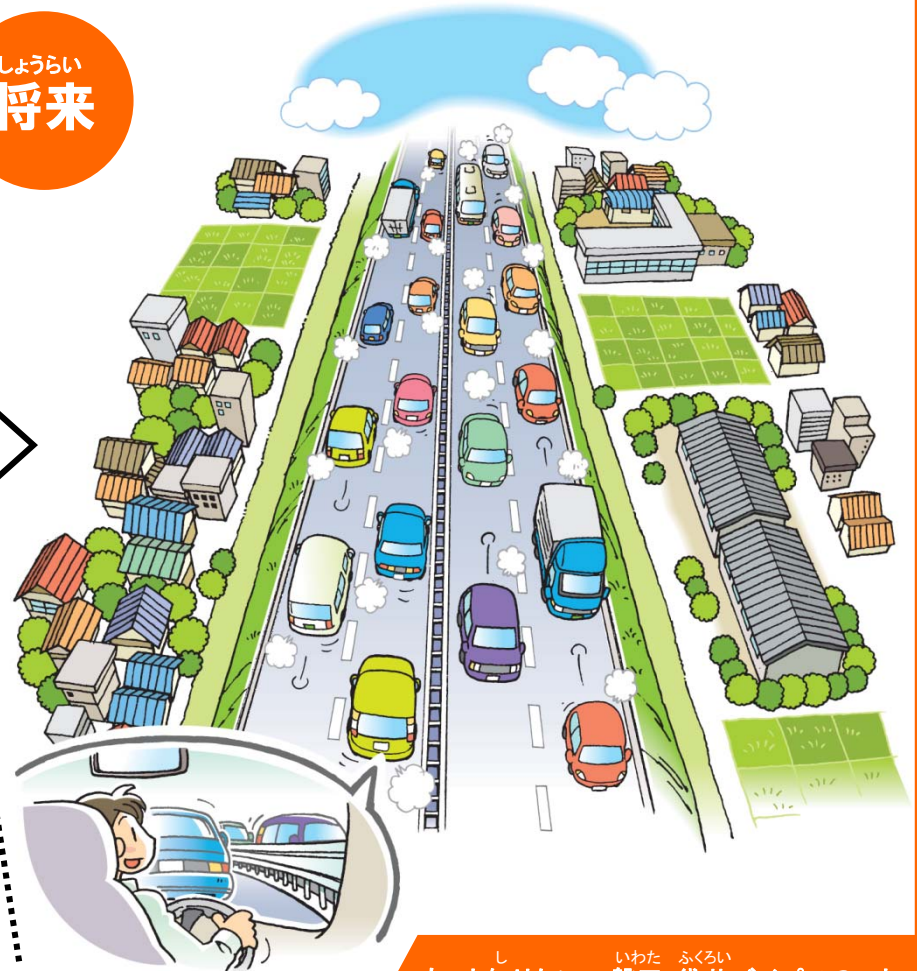


下の2つの絵を見てみましょう。何がかわってるかな？考えてみましょう。

いま



しょうらい
将来



これは、磐田・袋井バイパスの工事を**する前**と**後**をくらべた絵です。
道路工事は、みんなの暮らしをもっと**便利**に、**安全**にするために行っているんだよ！

もっと知りたい！磐田・袋井バイパスのこと
答えは裏面にあるよ →

こた 答え

- ① 車線の数 2本→4本
- ② 交通事故 あり→なし
- ③ 排気ガスの数 多い→少ない
- ④ 車と車との距離 短い→長い
- ⑤ ガードレール (中央分離帯) なし→あり

磐田・袋井バイパスを工事して、磐田市・袋井市を住みやすいまちに！

- 国道1号磐田・袋井バイパスは、まちの北側を通る長さ約16.3kmの道路です。
- 国道1号を通る車の数が多いので、いまの車線の数(2本)ではいつも渋滞が発生していて、道路を使う人たちは、目的の場所に行くのに時間がかかって、こまっています。
- 渋滞をなくすために、道路を広くしています。



磐田・袋井バイパスの車線が増えると、こんなにイイことがあるんだよ！



渋滞の長さが短くなります

車線の数が増えると、今までギュウギュウだった道路が広がるので、渋滞の長さが短くなり、目的の場所に早く行けるようになります。

【いま】渋滞の長さ 最大約3km

【将来】渋滞の長さが短くなります。

交通事故が少なくなります

車と車との距離が長くなると余裕をもって安全に車を運転できます。また、真ん中にガードレールを取り付けるので、正面衝突事故が起りにくくなります。

【いま】正面衝突事故:6件、追突事故:280件 (過去4年間)

【将来】正面衝突事故、追突事故が少なくなります。

空気がきれいになります

渋滞がなくなって車がスイスイ走ると、車のガソリンを使う量が少なくなるため、地球温暖化の原因となる排気ガスの二酸化炭素が減ります。

1日で25mプール約6個分減ります。